



第4回目となります青枢通信は、青枢のドクター、中澤 洪（ひろし）さんに登場していただきます。千葉県松戸市中澤外科・胃腸科を開業されて、この地域では有名なお医者さんでありながら、ル・サロンに入選される腕前の画家でもある中澤さん。わたし（米谷）も近所に住んでいるので、青枢展に出品する前から存じておりました。その後大病をした時にも、中澤さんに診ていただき助かった事もあります。現在は主治医なのに画家仲間という、良いお付き合いをさせていただいておりますが、やはり頼りになるドクターが会にいらっしゃるのは心強いですね。

今回もアトリエにお邪魔して（ご近所ですから）、突撃取材をしてみました。

中澤さんのアトリエは、医院と住居が繋がっているお宅の2階にあり、角のかくし部屋の様な、少年ならワクワクしそうな秘密基地的なアトリエです。作品保管の部屋は、医院の手術室として使われていた部屋にあり、まさにドクター画家らしい感じです。

米谷「今日ではよろしくお願ひします。まずは絵画に興味を持たれたキッカケから教えていただけますか？」

中澤「父親が絵や写真をやる多趣味な医者でね、当時は高崎に住んでいたんだけど、その中学出身でモダンアートの山口薫や豊田一男氏らの影響を受けたんだよね。そんな事で、進学する時医者になるか、芸大に行くか迷ったりしたんだよ。結局、千葉大の医学部から慈恵医大へと医者の道を進んで、結婚と子供が産まれたのを機にここで開業したんだけど、絵は好きで描いててね。」

米谷「あ、棚の上にコンタックスとか置いてあるのはもしかして？」

中澤「それはオヤジの形見なんだよね。」

米谷「なるほど、カメラ好きならオオッ！ってなる名機ですよ。あの時代にコンタックスで写真を撮られてたなんて、すごくハイカラなお父様だったんでしょうね。」

中澤「自分が絵描きでもあったから、進学の時医大でも芸大でも、どっちでも好きにしろって言いながら、芸術だと貧乏を覚悟しろとも言われてね（笑）」

米谷「う～ん、確かにその通りですね（苦笑）」

中澤「これがオヤジの画集でね、こんな感じでいろんな絵を描いていたんだよ。」

米谷「おお、達者ですね、迷いが無い、素晴らしいです。」



製作中のキャンパスの前でポーズ



棚の上に並んだカメラ&レンズ・コンタックス



見せていただいたお父様の画集

大学の4年間はラグビー部で体育会系、しかし絵は好きでよく描かれていたそうです。中澤さんはこの年代で私とほぼ同じ身長。当時としてはかなり背が高く、文化・スポーツの両方に通じたモダンボーイですね。さぞや若かりし頃は女性に言い寄られたのでは？と、そう言えば奥様は素敵な方でいらっしゃいます。「奥様との出会いというのは？」と訪ねると、「なにを聞いているの？いいじゃないそんな事は。」と笑われてしまいました、すみません（笑）

米谷「ところで青枢会との出会いは？」

中澤「事務局長の丹羽さんが患者さんで来ててね。医院に飾ってあった絵を見て、出品しませんか？と言われた事からね。」

米谷「なるほど、ここにも良い出会いがあったんですね。」



早春 F10

米谷「中澤さんの作品は、風景や人物以外にも、動物や昆虫など様々なものがありますが、時々キュビズムやフォービズムのような表現もありますね、これは？」

中澤「やはり高崎時代の、特に山口薫の影響とかを受けているのかな。ただの写実でなく、詩情を絵に表現したいという想いがあると思うよ。」

米谷「なるほど、確かにポエティックな題材なんかも絵にされていますよね。昆虫とかが登場するのも故郷の少年時代の記憶からでしょうか？」

中澤「それはもう、その通りだね。」

米谷「中澤さんの風景画や鶴を描かれた作品は、私も大好きです。柔らかいタッチで、空気感が心地良いです。フランスのサロンにも出品されていますよね？」

中澤「そう、まさにその鶴の絵と風景画が2回選ばれてね。あちらの雑誌・ユニベルデザールにも一度掲載していただいたんだよ。」

米谷「あ、見ました。軽井沢の白糸の滝と鶴を描いた作品ですね。あれは素晴らしいです。評論家のコメントにも、鶴が絶賛されていましたね。今日はありがとうございました。」



編

集

後

記

現役で開業医の仕事をされながら、絵画制作をされている中澤さん。まだまだ元気で精力的です。左がフランスの美術誌・ユニベルデザール。翻訳によれば「新しい着想をもって、厳しくも軽やかさと誠実さを感じさせる芸術作品であり特に鶴の求愛の作品は素晴らしい。」と書かれています。

最近は音楽をテーマにした人物作品にも取り組まれています。毎回いろいろな切り口で制作される姿勢には、今なお柔軟な感性を感じます。

今後の展開がますます楽しみです。

青枢通信もようやく4号まで出来て、次回はいつになるでしょうか？お楽しみにお待ち下さい。



愛の舞 F100 + F60

